



インターネットにおける子どもの性的搾取 4～7歳児の子どもを守る ためのアドバイス

子どもとの時間を大切にしましょう

低年齢の子どもが遊ぶときに、スマートフォンをはじめとしたデジタル機器を必要とすることはほとんどありません。デジタル機器よりも、子どもの感性を育てるゲーム、おもちゃ、アクティビティを提案するとよいでしょう。デジタル機器の使用を認める場合、その使用方法について共通のルールを作ることが重要です。低年齢の子どもがデジタル機器のセーフティ・スキルを身につけるための最善の方法は、子ども向けのオンライン・コンテンツを保護者も一緒に使いながら、その使用方法に関する考え方を共有しておくことです。低年齢の子どもは常に機器の使用と制限のためのサポートを必要としています。静かにさせることを目的として子どもにデジタル機器を渡したり、信頼できる大人がいない環境でデジタル機器を使用させることは避けてください。子どもの友人の保護者と共に、デジタル機器やオンライン・コンテンツの安全な使用に関する共通のルールについて話し合うことも有益です。

子どものお手本になりましょう

子どもが近くにいるときは、大人自身がデジタル機器の使用時間を制限することが重要です。子どものプライバシーを尊重し、写真を撮ったり公開したりする前には、子どもからの許可を得るようにしましょう。学校などの機関が子どもの写真を撮影し公開する前にも、同様の手続きが必要です。

写真データを保護するために、ソーシャルメディアやアプリのプライバシー設定を確認しましょう。裸の子どもの写真を撮ることは、常に危険性をはらみます。全てのデバイスやアプリの更新を忘れないようにして、その都度、プライバシー設定を見直しましょう。カメラを使わないときは、盗撮防止用のウェブカメラカバーも活用しましょう。デジタル時代の子育てについて、インターネット上でさらなるヒントを得てください。

子どもが助けを求められるようにしましょう

8歳未満の子どもにとって、信頼できる大人がいない環境でのデジタル機器の使用は危険を伴うことがあります。そうしたことを、子どもに対してわかりやすく説明しましょう。子どもと話し合いながら、デジタル機器を使う前に使ってもよいかを尋ねるようなルールを作りましょう。

問題が起きたときに、子どもがすぐに助けを求められるよう、信頼関係を築くことも重要です。子どもがルールを破ったり、トラブルに巻き込まれたりしたことを伝えてきたとしても、大人自身は冷静さを保ち、子どもを安心させるようにしましょう。自分の親が動揺したり、恥ずかしがったり、悲しんだりすることを恐れると、子どもは自分の心配事を伝えにくくなります。絵本に登場する笛のように、子どもたちにはいつでも助けを求められることができるという安心感を与えることが必要です。

プライバシーの尊重について説明しましょう

自分の身体や自分の写真は自分のものだということを子どもに説明してください。子どもはキスされたり、タッチされたり、写真を撮られたりすることに対して嫌だと言う権利があります。写真を撮ることを決して強制しないようにしましょう。決してプライベートゾーンの写真を撮ったり撮られたりしてはいけないということも伝えましょう。同様に、他人のプライバシーを尊重することの重要性も伝えてください。

デジタル機器を通じた写真流出・拡散のリスクを伝えましょう

デジタル機器で撮影した写真は、常に制御不能な拡散のリスクがあります。デジタル機器に保存された写真は、あらゆるところに拡散され、知らない他人にまで見られてしまう可能性があるということを子どもに伝えましょう。

世の中には、絵本に登場するせんのわたしどりのような行動をする人もいます。子どもの写真を奪い、時には非常に悪質な行動に出る可能性もあります。盗撮防止用のウェブカメラカバーがなぜ有効であるのかを子どもに伝えることも大切です。

予期せぬ写真拡散のリスクを防ぐために、子どもには、自分の写真を誰かに撮られる前に、保護者など信頼できる大人の許可を得るように伝えておきましょう。また、一つの方法として、写真を撮ってもよい人のリストを作ってあげることも効果的でしょう。その機会を通じて、「誰もあなたの裸やプライベートゾーンの写真を撮ってはいけないよ」ということを改めて強調しておきましょう。



より多くの情報を集めましょう

子どもの発達や成長のプロセスは一人ひとり異なります。それによって、ニーズも異なります。脆弱性、障害、生活の急な変化などの要素も、子どもに起こりうる危害への対応力やリスクを回避する能力に大きな影響を与える可能性があります。

欧州評議会では、子どもにとっての情報通信技術(ICTs)の利点を最大化するためにリスクを最小化し、子どもの危機管理能力を高め、かつ安全を確保することを目指して、政府、団体、企業とともに活動を行っています。

欧州評議会刊行の子ども・若者向け教材

したぎのおやくそくーキコとおててさん
(The Underwear Rule - Kiko and the Hand) (日本語版あり)

「信頼できる人に話そう」ビデオ・冊子 (Video and brochure of “Tell Someone You Trust”)

「これが性虐待なの？」
ビデオ・ブックレット (Video and booklet of “So This Is Sexual Abuse?”)

「デジタル環境における私たちの権利を学ぼう」リーフレット
(Leaflet “Learn about your rights in the digital environment”)

欧州評議会刊行の保護者向け教材

「デジタル時代の子育て：様々な状況における前向きな子育て戦略」
(“Parenting in the digital age - Positive parenting strategies for different scenarios”)

インターネットにおける性的搾取や性的虐待から子どもを保護するための保護者向けガイダンス「デジタル時代の子育て」
(Parental guidance for the online protection of children from sexual exploitation and sexual abuse - “Parenting in the Digital Age”)

「インターネットにおける子どもの保護：エリザベス・ミロヴィドフによる6つの短編ビデオ」
(“Protecting children online: 6 short videos by Elizabeth Milovidov”)

「2クリック進んで1クリック戻る：デジタル環境における障害のある子どもに関する報告」
“Two Clicks Forward and One Click Back: report on children with disabilities in the digital environment”)

「インターネットリテラシーのためのハンドブック」 (“The Internet Literacy Handbook”)

